

「人間の安全保障」プログラム修士課程入学試験案内

この案内書は、東京大学大学院総合文化研究科「人間の安全保障」プログラムの修士課程学生募集要項を補足するものである。

1. 出願資格について

出願資格第10号中、「平成23年3月31日において22歳に達しているもの」には、平成元年4月1日生まれの者を含む。

2. 受入予定人員について

「人間の安全保障」プログラムでは、各専攻別に受入予定人員を定めず、プログラム全体として学生を募集する。

ただし、志願者は、各自の研究テーマに基づき、志望専攻(分野・系)を決めて出願しなければならない。入学後は、当該専攻(分野・系)に所属しつつ、本プログラムのカリキュラムを履修する。

3. 選抜方法について

選抜方法により、入学試験日程が異なるので注意すること。

一般選抜

(1) 第1次試験における筆記試験科目は、専門科目のみである。

専門科目試験結果、入学願書、出身学校の学業成績及び英語の能力を証明する書類(TOEFL または IELTS の成績票)等を総合的に判断したうえで、第1次試験合格者(口述試験対象者)を決定する。

(2) 第1次試験合格者は、所定の期間内に、指定された課題を提出しなければならない。(8頁参照)

(3) 第2次(口述)試験は、提出課題並びに「人間の安全保障」分野等について行う。

社会人特別選抜

(1) 筆記試験は行わず、指定された提出課題(8頁参照)、入学願書、出身学校の学業成績、英語の能力を証明する書類(TOEFL または IELTS の成績票)等の提出書類を総合的に判断したうえで、第1次試験合格者(口述試験対象者)を決定する。

(2) 第2次(口述)試験は、提出課題並びに「人間の安全保障」分野等について行う。

4. 出願書類等作成について

(1) 入学願書は、修士課程・博士後期課程及び一般選抜出願・社会人特別選抜出願について、共通の様式となっている。出願しようとする課程及び選抜を○で囲むこと。

(2) 入学願書は、正・副それぞれ1枚ある。双方の記入内容に相違がないよう注意すること。また、必ず2枚とも提出すること。

(3) 入学願書は、「受付番号」及び「受験番号」欄以外は、該当する箇所をすべて記入すること。また、裏面の記入も忘れないこと。

(4) 入学願書に貼付する写真3枚は、すべて同一のものを使用し、はがれないようにしっかりと糊付けすること。

- (5) 入学願書中、志望専攻(分野・系)欄は、前述の「2. 受入予定人員」により必ず記入すること。
なお、超域文化科学専攻、国際社会科学専攻及び広域科学専攻を志望する者は、分野または系も記入すること(各専攻の分野・系は以下のとおり)。
超域文化科学専攻(表象文化論分野・文化人類学分野・比較文学比較文化分野)
国際社会科学専攻(国際関係論分野・相関社会科学分野)
広域科学専攻(生命環境科学系・広域システム科学系・相関基礎科学系)
- (6) 入学願書中、「現在の身分」欄は、「出身大学等」または「出身大学院等」欄に記載の大学または大学院等に在学中の者以外は、必ず記入すること。無業の者も、その旨記入すること。
- (7) 入学願書裏面の「履歴事項」欄は、高等学校卒業時から(外国人は小学校入学時から)記入し、職歴等も含めて、空白期間のないようにすること。
- (8) 成績証明書は、大学在学時のすべての成績証明書を提出すること。「履歴事項」欄に記載のある複数の大学(院)及び外国の大学(院)(単位互換制度等で留学したものを含む)についても、卒業(修了)・中途退学の如何によらず、成績証明書の発行可能なものについてはすべて提出すること。
- (9) 提出書類(各種証明書、論文等)に記載されている氏名と現在の氏名が異なる場合には、改姓名したことが確認できる証明書を添付すること。
- (10) 出願書類提出用封筒(角型2号)の所定欄に必要事項を記入のうえ、出願書類等を封筒裏面に記載してある【出願書類等提出明細】の順に整理して封入すること。
- (11) 受験票送付用封筒(長型3号)に受験票受信場所の住所を記入し、350円分の切手を貼ること。
なお、口述試験通知用封筒は提出不要。

5. 社会人の受入れについて

本プログラムは、基本的には、大学院設置基準第14条に定める「教育方法の特例」(いわゆる社会人大学院)には該当しない。ただし、職業人の修学を考慮し、一部の科目については、第6時限目(18時～)や土曜日に開講したり、集中講義とするなどの配慮を行っている。なお、書面による「学業専念に関する証明書」等の提出は求めない。

6. 一般選抜第1次(筆記)試験合格者及び社会人特別選拔出願者に係る提出課題について

- (1) 提出課題は、一般選拔出願者及び社会人特別選拔出願者で異なっている。以下の【提出課題一覧】により、指定された課題を提出すること。
- (2) 提出課題の論文及び論文要旨には、所定の「論文添付票」及び「論文要旨添付票」を貼付し、その他の提出課題(研究計画書等)については、表紙に提出書類等の表題、志望専攻(分野・系)名、受験番号(社会人特別選拔出願者を除く)及び氏名を記入すること。
- (3) 郵送にあたっては、必ず書留速達郵便(小包)とし、各自で用意した封筒等に、所定の「論文等提出用ラベル」を貼付すること。
- (4) 提出期間
一般選抜第1次試験合格者：平成23年1月28日(金)から2月1日(火)まで
(平成23年2月2日(水)以降に到着したものについては、2月1日(火)までの消印のあるものに限り有効とする。)

社会人特別選拔出願者：平成22年6月28日(月)から7月1日(木)まで(出願期間と同じ)
(平成22年7月2日(金)以降に到着したのものについては、7月1日(木)までの消印のあるものに限り有効とする。)

(5)あて先 〒153-8902 東京都目黒区駒場3-8-1
 東京大学大学院総合文化研究科事務部(教養学部教務課総合文化大学院係)
 電話 03-5454-6050(6049)

【提出課題一覧】

「人間の安全保障」プログラム

対象者	提出課題	備考
一般選拔出願者	<p>1 『論文』 平成23年3月卒業見込みの者で、卒業論文又はそれに準ずる論文を書いた者は、コピーを3部提出すること。</p> <p>2 上記1以外の者は、現在もっとも関心を持っている研究課題を、人間の安全保障の見地に立って論文にまとめ、コピーを3部提出すること。同趣旨の論文(卒業論文も可)を過去3年以内にまとめている場合(公刊されたものを含む)は、新たにまとめる必要はなく、それを提出論文にしてもよい。</p> <p>3 『論文要旨』 上記1、2いずれの場合も、論文が日本語の場合は、英語による要旨のコピーを3部、論文が外国語の場合は、日本語による要旨のコピーを3部添えて提出すること。</p> <p>4 『研究計画書』 大学院入学後の研究計画を具体的に述べた「研究計画書」のコピーを3部提出すること。</p>	<p>イ左記1、2の論文が、英語、フランス語、ドイツ語、中国語、ロシア語、スペイン語、韓国朝鮮語以外の外国語の場合、日本語による全訳のコピーも3部提出すること。</p> <p>ロ外国人出願者については、左記1、2の論文は、日本語で20,000字前後とする。ただし、日本語の論文と同一内容の論文が、日本語以外の言語でも作成されている場合には、その言語が、英語、フランス語、ドイツ語、中国語、ロシア語、スペイン語、韓国朝鮮語である場合に限り、日本語の論文と併せてそれを提出することができる。また、日本の大学を卒業した者又は卒業見込の者及び日本の大学院を修了した者又は修了見込の者は、イに従う。</p> <p>ハ左記3の論文要旨は、A4判用紙3～5枚程度とする。</p> <p>ニ左記4の研究計画書は、日本語で、A4判用紙使用2,000字程度とする。</p>
社会人特別選拔出願者	<p>1 『論文』 現在もっとも関心を持っている研究課題を、人間の安全保障の見地に立って論文にまとめ、コピーを3部提出すること。同趣旨の論文(卒業論文も可)を過去3年以内にまとめている場合(公刊されたものを含む)は、新たにまとめる必要はなく、それを提出論文にしてもよい。</p> <p>2 『論文要旨』 上記1の論文が日本語の場合には、英語による要旨のコピーを3部、論文が外国語の場合には、日本語による要旨のコピーを3部添えて提出すること。</p> <p>3 『研究計画書』 上記1、2のほか、大学院入学後の研究計画を具体的に述べた「研究計画書」のコピーを3部提出すること。その際、社会人としての経験を大学院における研究にどのように反映させるのか、また、大学院修了後、研究成果を社会生活にどのように還元する予定かという点について、特に留意すること。</p>	<p>イ左記1、2とも、使用言語・枚数等については、一般選拔出願者の規定に準ずるものとする。</p> <p>ロ左記3の研究計画書は、日本語で、A4判用紙使用4,000字程度とする。</p>

注)口述試験の際に、受験者は提出論文のコピーを持参すること。その論文の内容と入学後の研究計画を、最初の3分間で要約して述べるのが求められる。